

くすのき

がっこう
12月号



れいわ がっ にち
令和5年 11月30日

よこはましりつほんもくみなみしょうがっこう
横浜市立本牧南小学校



ホームページはこちらから!随時更新中→

こ じぶん きづ たいせつ
子どもたちが自分のよさに気づき、大切にしていけるように

じどうしえんせんじん ひしかた ゆういちろう
児童支援専任 菱形 雄一郎

11月16日(木)の集会で、全校児童が体育館に集まる中、6年生34名一人ひとりの素敵なところを担任が紹介しました。担任から自分の名前と素敵なところが紹介されると、どの子どももうれしそうな表情を浮かべていました。集会で使用したスライドは印刷して、西階段2階と3階の間の踊り場に掲示しています。「よいところ見つけ」の活動は、この集会を皮切りに、1年生から5年生でも、各学級で取り組みます。

本校では、11月14日(火)~17日(金)の児童指導強化週間を中心に、11月中には上記の集会の他、子どもたちや教職員を対象に、様々な取組を行っています。例えば、前期の6月と後期の11月には、子どもたちに学校生活についてのアンケートを取り、その結果をもとに、担任や学年主任、低・

中・高学年で同じ学年グループの担任、専科の教諭、養護教諭、児童支援専任が、それぞれの視点で各学級の様子について話し合い、担任が自身の学級の実態やこれから伸ばしていきたい点について振り返る機会を設けています。

「児童(生徒)指導」という言葉からは、教師が児童を一方向的に指導するというイメージがありますが、文部科学省の出版している『生徒指導提要』によると、生徒指導は、「児童生徒が自身を個性的存在と認め、自己に内在しているよさや可能性に自ら気づき、引き出し、伸ばすと同時に、社会生活で必要となる社会的資質・能力を身に付けることを支える働きです。」と説明されています。

本校では教職員が、普段から、子どもたちが自他のよさに気づき、伸ばしていくことを支援できるように教育活動を工夫して行っています。それは、本校の目指す「元気いっぱい、やさしさいっぱい、何でもチャレンジ南っ子」の育成につながると考えています。



本校が目指す子どもの姿の育成は、学校だけでなく、地域や保護者の皆様のご支援やご協力があるからこそ、実現できると考えております。今後とも教職員一同、地域や保護者の皆様の支えに感謝し、教育活動を進めてまいりたいと思います。